

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		土木管理事務		グループ・担当名	建設グループ建設担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	01 道路網の整備			項	01 土木管理費
	施策(中)	01 国道・道道の整備			目	01 土木総務費
	施策(小)	01 高規格幹線道路、地域高規格道路、一般国道の整備促進			大事業	01 土木管理事務
事業期間	単年度					
要求区分	新規		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	-
事業概要	管内及び道内市町村と連携し広域道路網整備促進の要望活動など北海道開発行政の推進のため、関係機関等で設立する協議会等に参加して本町土木行政の推進を図るものです。 及び建設事業の事務経費です。 高規格道路の延伸強化要望・国道・道道の要望など事業の必要性が高まっています。					
事業目的	中央幹線道路、道東縦貫道、道道整備促進要望・国道334号連携会議事務局経費					
事業の対象	関係機市町村との連携強化による要望陳情等により広域道路網（高規格道路他）の整備促進を図るほか、新規町道					
実施結果	【実施結果】 広域道路網整備による経済活動等の促進。					
現状と課題	【現状と課題】 国の行財政改革による道路整備予算の削減に伴う対応強化。					
事業進捗度	2 予定通り取り組んでいるが終了していない	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	1,010	948	1,124	1,069	1,104	0
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	1,010	948	1,124	1,069	1,104	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	1,010	948	1,124	1,069	1,104	0

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	各種要望会議への参加	目標	回			6	8	8
		実績	回	6	8	10		
		達成率	%		133.33	125		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	行政（国・道）への地域要望の促進。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	国の事業凍結解除により更なる高規格道路の整備要望促進を図られる。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	行政（国・道）への事業要望強化。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 継続的な要望。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 継続的な要望。						
		予算反映額 (概算)		0千円			現状維持	
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		システム導入事業		グループ・担当名	建設グループ建設担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	01 道路網の整備			項	01 土木管理費
	施策(中)	02 町道の整備			目	01 土木総務費
	施策(小)	03 町道整備、維持補修、道路附帯施設、橋梁補修の計画及び			大事業	01 土木管理事務
事業期間	単年度					
要求区分	新規		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	-
事業概要	<p>【投資的経費・一部】 北海道が開発した土木積算システムプログラムの使用許諾を受け使用することにより、設計積算事務の適正かつ省力化を図る。 システムの使用料、積算機器の借上料、単価データの提供等に要する経費。 ・土木積算システム導入：平成7年8月(当初)</p>					
事業目的	<p>北海道土木積算システムを導入する。 ・システム使用料(5ライセンス) ・システム機器借上料(5年リース)</p>					
事業の対象	土木事業設計積算事務の適正化及び省力化。建設グループ導入台数：5台					
実施結果	【実施結果】 設計積算事務の適正化及び省力化。					
現状と課題	【現状と課題】 システム導入・運用経費の軽減。					
事業進捗度	2 予定通り取り組んでいるが終了していない	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	2,258	1,629	2,001	1,937	1,951	0
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	2,258	1,629	2,001	1,937	1,951	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	2,258	1,629	2,001	1,937	1,951	0

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	土木積算システムの利用	目標	台		4	6	6	6
		実績	台	4	4	6		
		達成率	%		100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	設計積算業務の省力化による事業効率化。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	新土木積算システム操作技術向上の実施と積算の速効性。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	建設事業積算業務の効率化。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 予算確保。						
		予算反映額 (概算)	0千円			現状維持		
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調査書

1. 事業内容

事務事業名		橋梁長寿命化事業		グループ・担当名	建設グループ建設担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	01 道路網の整備			項	02 道路橋梁費
	施策(中)	02 町道の整備			目	02 道路橋梁維持費
	施策(小)	03 町道整備、維持補修、道路附帯施設、橋梁補修の計画及び			大事業	02 道路橋梁補修事業
事業期間	終期未定		平成28年度～平成34年度			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	道路法			経費区分	投資的経費	
事業概要	老朽化した橋梁を橋梁長寿命化計画により補修を行う。 防災・安全交付金により橋梁長寿命化計画大正橋修繕事業を補助事業により行う。(国庫補助率6/10)維持・補修を国庫補助により行い、コスト削減を図る。 町道770号(大正橋)舗装・伸縮装置等の修繕等 町内の全橋梁の5年に1度の法定点検を2カ年に分けて補助事業により実施し、併せて長寿命化計画の見直しを図る 円滑な橋梁通行のため、老朽化した大正橋の補修(長寿命化)を行う。					
事業目的						
事業の対象	町民等					
実施結果	【実施結果】 補助事業を適用し、コスト削減を図りながら橋梁補修をすすめる。					
現状と課題	【現状と課題】 社会資本整備総合交付金については、要望額に対する充当率が低い状況となっていることから、事業を圧縮し進めている。					
事業進捗度	2 予定通り取り組んでいるが終了していない	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	18,554	41,936	111,300	91,951	24,777	0
国支出金	11,133	22,531	66,780	53,905	13,666	-
道支出金	0	0	0	0	0	-
地方債	7,400	10,900	25,200	17,700	11,100	-
その他	0	0	0	0	0	-
一般財源	21	8,505	19,320	20,346	11	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	18,554	41,936	111,300	91,951	24,777	0

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	橋梁修繕	目標	橋		1	1	1	
		実績	橋	1	1	1		
		達成率	%		100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町道橋梁補修事業の実施は道路管理者(町)が行い安全を図る。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	橋梁長寿命化修繕計画により適切なストック点検のもと橋梁補修事業実施で安全確保が図られる。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	社会資本整備総合交付金事業(補助事業)を活用して補修事業を行い安全性の確保が図られる。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 社会資本整備総合交付金事業推進。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 社会資本整備総合交付金、過疎ハード			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		道路補修事業		グループ・担当名	建設グループ都市計画担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	01 道路網の整備			項	02 道路橋梁費
	施策(中)	02 町道の整備			目	02 道路橋梁維持費
	施策(小)	03 町道整備、維持補修、道路附帯施設、橋梁補修の計画及び			大事業	02 道路橋梁補修事業
事業期間	終期未定		平成28年度～平成32年度			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	道路法			経費区分	投資的経費	
事業概要	平成28年防災・安全交付金により舗装修繕事業・道路ストックを補助事業により行う。(国庫補助率6/10)維持・補修を国庫補助により行い、コスト削減を図る。 舗装補修(補助事業)、道路ストック点検68.8km40路線(補助事業)道路照明・大型標識・トンネル・擁壁・法面等の点検調査を行う。					
事業目的	道路施設の維持・補修を行い、安全な通行の確保に努める。					
事業の対象	町民(道路利用者)					
実施結果	【実施結果】 国庫補助金などでコストを削減し、修繕・補修に努める。					
現状と課題	【現状と課題】 社会資本整備総合交付金については、要望額に対する充当率が低い状況となっていることから、事業を圧縮し進めている。					
事業進捗度	2 予定通り取り組んでいるが終了していない	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	54,262	16,013	37,820	8,216	8,920	0
国支出金	24,066	8,435	22,500	4,775	5,160	-
道支出金	0	0	0	0	0	-
地方債	23,000	4,200	0	0	0	-
その他	0	0	0	0	0	-
一般財源	7,196	3,378	15,320	3,441	3,760	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	54,262	16,013	37,820	8,216	8,920	0

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	道路補修	目標	本		1	3	2	
		実績	本	2	1	3		
		達成率	%		100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町道補修事業の実施は道路管理者(町)が行い安全を図る。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	道路ストック点検による道路補修事業推進で安全性が図られる。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	事業実施後は安全確保が図られる。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 社会資本整備総合交付金事業推進					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 社会資本整備総合交付金、過疎ソフト			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		第262号外道路改良事業		グループ・担当名	建設グループ都市計画担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	01 道路網の整備			項	02 道路橋梁費
	施策(中)	03 国道、道道、町道等道路網の整備、促進			目	03 道路橋梁新設改良費
	施策(小)	00			大事業	02 道路改築事業
事業期間	終期未定		昭和28年度～			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	道路法			経費区分	投資的経費	
事業概要	第262号道路・第252号道路・第280号道路・第505号道路・第509号道路・第112号道路について現状道路の損傷がひどく、路盤圧が規定に足りず、凍上、舗装の経年劣化により全改良による整備が必要なことから、社会資本整備総合交付金事業により道路整備を推進する。					
事業目的	老朽化した道路施設を改築し、円滑な道路通行を保つ。					
事業の対象	町民（道路利用者）					
実施結果	【実施結果】 社会資本整備総合交付金事業によりコスト縮減のもとすすめる。					
現状と課題	【現状と課題】 社会資本整備総合交付金については、要望額に対する充当率が低い状況となっていることから、事業を圧縮し進めている。					
事業進捗度	2 予定通り取り組んでいるが終了していない	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	0	21,697	65,000	46,138	64,525	0
国支出金	-	12,145	36,000	24,869	34,515	-
道支出金	-	0	0	0	0	-
地方債	-	9,500	29,000	21,200	30,000	-
その他	-	0	0	0	0	-
一般財源	0	52	0	69	10	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	0	21,697	65,000	46,138	64,525	0

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	道路工事数	目標	本			1	1	1
		実績	本			1	1	
		達成率	%			100	100	
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	道路管理者（町）による町道整備は適切である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	社会資本整備総合交付金事業（補助事業）により安全な道路通行確保がはかれる。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	事業実施後は安全確保が図られる。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 社会資本整備総合交付金事業推進。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 社会資本整備総合交付金、過疎ハード。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		都市計画事務		グループ・担当名	建設グループ都市計画担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	04 住みやすく美しい市街地機能の向上			項	04 都市計画費
	施策(中)	03 市街地における土地利用の推進			目	01 都市計画総務費
	施策(小)	01 都市計画区域における土地利用の見直し策定			大業	01 都市計画事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	都市計画法				経費区分	政策的経費
事業概要	【投資的経費・一部含む】 ・都市計画審議会に関する事務 ・都市計画決定・変更に関する事務 ・開発行為許可等に関する事務					
事業目的	無秩序な開発行為を防止し、住環境の整備、快適なまちづくりをすすめる。					
事業の対象	都市計画区域内町民					
実施結果・現状と課題	【実施結果】 ・都市計画審議会を適宜開催している。 ・開発行為許可については、特定行政庁であるオホーツク総合振興局及び関係機関と連携している。 【現状と課題】 ・都市計画審議会を適宜開催する。 ・開発行為許可については、特定行政庁であるオホーツク総合振興局と連携し、許可等の事務に努める。					
事業進捗度	2 予定通り取り組んでいるが終了していない	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	11	224	1,317	1,119	754	0
国支出金	-	0	0	0	0	-
道支出金	-	27	5	0	5	-
地方債	-	0	0	0	0	-
その他	-	0	1	36	1	-
一般財源	11	197	1,311	1,083	748	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	11	224	1,317	1,119	754	0

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	都市計画区域内人口	目標	%			99	99	99
		実績	%		99	99	99	
		達成率	%			100	100	
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	市街地における無秩序な開発行為の防止を図る。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	現状維持を再確認し、計画的な土地利用の促進を図る。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	検討	費用と効果のバランスを考慮した事務の効率化。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状予算を維持。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								



平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		用途地域変更事業		グループ・担当名	建設グループ都市計画担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	04 住みやすく美しい市街地機能の向上			項	04 都市計画費
	施策(中)	03 市街地における土地利用の推進			目	01 都市計画総務費
	施策(小)	01 都市計画区域における土地利用の見直し策定			大業	01 都市計画事業
事業期間	単年度		平成28年度～平成28年度			
要求区分	新規		マニフェスト	-		
根拠法令等	都市計画法・都市公園法・都市緑地法			経費区分	投資的経費	
事業概要	都市公園の緑化（街路樹）の在り方、網走川河畔公園・なかまち緑道公園等の緑地、都市計画区域内の緑地に関する「緑の基本計画」を策定し公園・緑地の在り方を再考する。					
事業目的	都市計画区域内の緑地・街路樹の方針の再考及び網走川河畔公園及びなかまち緑道公園の公園配置について再考する。					
事業の対象	町民					
実施結果	【実施結果】 協議会・業務委託を通じ、都市計画区域内の「緑の基本計画」を策定する。					
現状と課題	【現状と課題】 「緑の基本計画」については、H28年度策定済。美幌都市計画区域整備、開発及び保全の方針について見直しを図る。					
事業進捗度	2 予定通り取り組んでいるが終了していない	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	4,872	6,943	0	0	0	0
国支出金	-	2,293	-	-	0	-
道支出金	-	0	-	-	0	-
地方債	-	0	-	-	0	-
その他	-	0	-	-	0	-
一般財源	4,872	4,650	0	0	0	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	4,872	6,943	0	0	0	0

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	用途区域内人口減少率	目標	%			99	99	99
		実績	%	98	99	99		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	住環境の整備や快適なまちづくりを進めるとともに、人口減少に伴うコンパクトなまちづくりを図る。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	住環境の整備や快適なまちづくりを進めるとともに、人口減少に伴うコンパクトなまちづくりを図る。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	無秩序な市街地拡大の抑制及びコンパクトなまちづくりによる費用対効果。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状予算を維持。			予算反映額 (概算)	0千円	現状維持	
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		地籍調査事業		グループ・担当名	建設グループ管理担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	02 総務費
	施策(大)	04 住みやすく美しい市街地機能の向上			項	05 統計調査費
	施策(中)	01 計画的な土地利用の推進			目	02 地籍調査費
	施策(小)	01 地籍の信頼性の確保			大業	01 地籍調査事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	国土法			経費区分	投資的経費	
事業概要	地籍調査補完事業 国土調査終了後の地籍の誤りの訂正及び分合筆等を地籍図数値情報化（電算処理化）する。					
事業目的	地籍調査結果を適正に管理する。					
事業の対象	土地所有者					
実施結果	【実施結果】 地籍調査データの更新					
現状と課題	【現状と課題】 毎年1月1日現在の固定資産等移動データを基に地籍図情報数値化を図っている。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	2,224	1,058	2,623	2,354	2,591	2,500
国支出金	-	-	0	-	0	0
道支出金	-	-	0	-	0	0
地方債	-	-	0	-	0	0
その他	-	-	369	-	369	450
一般財源	2,224	1,058	2,254	2,354	2,222	2,050
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	2,224	1,058	2,623	2,354	2,591	2,500

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	地籍調査更正数	目標	筆		200	200	250	250
		実績	筆	240	270	250		
		達成率	%		135	125		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町で管理すべきものである。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	データの更新は民間委託している。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	費用は入札をしている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 引き続き、適正に管理しつづけて事業を継続する。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 概ね現状維持で事業を継続する。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								



平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		道路台帳整備事業		グループ・担当名	建設グループ維持担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	01 道路網の整備			項	02 道路橋梁費
	施策(中)	02 町道の整備			目	01 道路橋梁総務費
	施策(小)	02 町道整備計画(中期的計画)の策定			大事業	01 道路台帳整備事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	現在、町道は664路線あり、改良、舗装延長、認定路線の増加を管理、道路台帳図等を修正する。 ・道路網図の修正 ・土工定規図の記入 ・道路台帳及び図面の修正 ・工事経緯表の作成					
事業目的	維持管理を適切に遂行できるようにする。					
事業の対象	町道					
実施結果	【実施結果】 道路台帳等を適正に管理している。					
現状と課題	【現状と課題】 当該年工事を的確に把握し、道路台帳へ適正に反映されている。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	11,340	1,696	2,712	2,376	2,600	3,000
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	11,340	1,696	2,712	2,376	2,600	3,000
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	11,340	1,696	2,712	2,376	2,600	3,000

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	修正延長	目標	km		3	3	1.92	2
		実績	km	4.1	1.67	2.8		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町道管理に必要なため、町が実施すべきである。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	民間委託によって台帳等を整備している。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	検討	費用は入札で決定しているため、適正である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 継続する。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 実施路線によって予算額は増減することがある。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		公共下水道建設事業		グループ・担当名	建設グループ維持担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	01 公共下水道費
	施策(大)	07 上下水道の整備			項	01 公共下水道費
	施策(中)	04 下水道事業の継続性の確保			目	03 建設費
	施策(小)	01 全体計画、事業計画の変更			大業	01 公共下水道建設事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	下水道法・都市計画法			経費区分	投資的経費	
事業概要	昭和48年に下水道事業に着手し、下水道の整備拡充に努めてきた結果、水洗化率は平成29年度末で96.1%となっている。また、市街地周辺の集落等の環境整備を図るため、平成8年度から特定環境保全公共下水道事業に着手し、ほぼ整備を終えている。今後も更なる普及率の向上を図るため、汚水樹設置を実施する。また、管渠、処理場設備ともに経年劣化により不具合が増加傾向にあるため、計画的な更新工事を実施する。					
事業目的	公共下水道は市町村が行うもので、下水を排除し又は処理するため事業を計画的に遂行する。					
事業の対象	町民（公共下水道利用者）					
実施結果	【実施結果】 国土交通省の社会資本整備総合交付金事業等を活用し、コストを縮減し事業を実施する。					
現状と課題	【現状と課題】 社会資本整備総合交付金の配分額不足に起因し、更新が先延ばしになっている管渠や設備がある。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	211,399	230,515	308,980	203,704	244,971	294,162
国支出金	-	-	165,300	-	121,000	-
道支出金	-	-	0	-	0	-
地方債	-	-	132,600	-	103,300	-
その他	-	-	11,080	-	20,671	-
一般財源	211,399	230,515	0	203,704	0	294,162
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	211,399	230,515	308,980	203,704	244,971	294,162

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
指標1	長寿命化計画、実施計画に基づく下水道施設の維持補修	目標	%			87	70	80	90
		実績	%		51	60	70		
		達成率	%			68.97	100		
指標2		目標							
		実績							
		達成率	%						
指標3		目標							
		実績							
		達成率	%						
項目	評価の視点	評価	理由						
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町管理のため、町が実施すべきである。						
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	適切な更新工事が進められている。						
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	成果及び経費は適正である。						
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 今後も計画的に更新工事を実施していく。					評価結果		
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 社会資本整備総合交付金を利用し、計画的に更新工事を進める。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持	
今後の改善点									

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		個別排水処理施設維持管理事業		グループ・担当名	建設グループ維持担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	01 個別排水処理費
	施策(大)	07 上下水道の整備			項	01 個別排水処理費
	施策(中)	06 合併処理浄化槽の設置促進と維持管理			目	02 維持管理費
	施策(小)	02 個別排水処理施設の適切な維持管理と経営健全化			大業	01 個別排水処理施設維持管
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	浄化槽法				経費区分	政策的経費
事業概要	個別排水処理施設に係る点検、修繕等の維持管理を行う。					
事業目的	下水道未普及地区における生活環境向上を図る。					
事業の対象	個別排水処理施設利用者					
実施結果	【実施結果】 水質検査や点検・修繕等の維持管理を行い、個別排水処理施設の機能を十分に発揮できた。					
現状と課題	【現状と課題】 施設の老朽化に伴う修繕箇所が増加により、維持管理費が年々増加傾向にある。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	27,066	27,534	29,685	28,180	31,997	32,000
国支出金	-	-	0	0	0	0
道支出金	-	-	0	0	0	0
地方債	-	-	0	0	0	0
その他	-	-	9,324	7,909	11,019	10,000
一般財源	27,066	27,534	20,361	20,271	20,978	22,000
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	27,066	27,534	29,685	28,180	31,997	32,000

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	設置基数 (撤去したものは除く)	目標	基			310	320	330
		実績	基			308		
		達成率	%			99.35		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町の施設であることから、町で実施することが妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	目標達成度が高いことから、手段や対象は適切である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	施設の維持管理に最低限必要な費用であることから、経費は適正である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 引き続き適正に維持管理をしていく。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 施設の老朽化のため修繕費等の増が見込まれる。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		個別排水処理施設建設事業		グループ・担当名	建設グループ維持担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	01 個別排水処理費
	施策(大)	07 上下水道の整備			項	01 個別排水処理費
	施策(中)	06 合併処理浄化槽の設置促進と維持管理			目	03 建設費
	施策(小)	01 個別排水処理施設整備計画に基づく計画的な整備			大業	01 個別排水処理施設建設事業
事業期間	終期未定		平成9年度～平成38年度			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	浄化槽法			経費区分	投資的経費	
事業概要	下水道未普及地区の水洗化を図るために合併浄化槽（個別排水処理施設）の設置を行う。					
事業目的	下水道未普及地区における生活環境向上を図る。					
事業の対象	下水道未普及地区における個別排水処理施設の未設置者					
実施結果	【実施結果】 個別排水処理施設の設置を行い、普及率が増加した。					
現状と課題	【現状と課題】 ここ数年はおおよそ計画どおりの基数を設置できており、今後も計画的な設置に向けて事業のPRを実施する必要がある。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	27,724	26,438	34,563	33,523	35,721	35,720
国支出金	-	-	0	0	0	0
道支出金	-	-	0	0	0	0
地方債	-	-	32,200	31,200	33,400	33,400
その他	-	-	2,363	1,561	2,321	2,320
一般財源	27,724	26,438	0	762	0	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	27,724	26,438	34,563	33,523	35,721	35,720

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	設置基数 (当該年度)	目標	基			10	10	10
		実績	基			10		
		達成率	%			100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	個別排水処理施設整備事業計画に基づき、実施する必要がある。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	目標達成度が高く、手段や対象は適切である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	入札を実施しており、経費は適正である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 個別排水処理施設整備計画に基づき事業を継続する。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 個別排水処理施設整備計画に基づき10基の設置を見込む。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調査

1. 事業内容

事務事業名		堤内排水対策事業		グループ・担当名	建設グループ維持担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	03 治山・治水対策の推進			項	02 道路橋梁費
	施策(中)	01 治水対策の推進			目	02 道路橋梁維持費
	施策(小)	02 内水排除用排水ポンプの維持管理			大事業	05 堤内排水対策事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	大雨などによる河川の増水により、住宅等へ水害が及ばないように各樋門に排水ポンプを設置し監視体制を整える。 ・ポンプ稼働時における設置及び監視 ・排水ポンプ等の維持管理					
事業目的	大雨等災害による被害を軽減し、災害等に対する不安を解消する。					
事業の対象	河川沿線住民					
実施結果	【実施結果】 電源設備を整備するとともに、降雨時に排水ポンプ等を設置し災害被害を軽減している。					
現状と課題	【現状と課題】 排水ポンプ51台保有し、7台はリースで対応している					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	6,529	28,154	24,831	26,869	71,829	9,769
国支出金	-	-	0	-	0	-
道支出金	-	-	0	-	0	-
地方債	-	-	4,600	-	49,800	-
その他	-	-	0	-	0	-
一般財源	6,529	28,154	20,231	26,869	22,029	9,769
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	6,529	28,154	24,831	26,869	71,829	9,769

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	排水設備設置数	目標	基			41	51	58
		実績	基	35	41	51		
		達成率	%		100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	堤内排水対策として町が実施すべきである。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	年次的に整備している。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	入札を実施している。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 引き続き堤内排水対策として事業を継続する。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 縮小 ○ 皆減 排水ポンプ等の整備を概ね終えたため、予算は縮小する。			予算反映額 (概算)	0千円		縮小
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		個別排水処理事務		グループ・担当名	建設グループ維持担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	01 個別排水処理費
	施策(大)	07 上下水道の整備			項	01 個別排水処理費
	施策(中)	06 合併処理浄化槽の設置促進と維持管理			目	01 一般管理費
	施策(小)	01 個別排水処理施設整備計画に基づく計画的な整備			大事業	01 個別排水処理事務
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	-
事業概要	個別排水処理施設の運営に係る経理等の一般事務を行う					
事業目的	個別排水処理施設の普及促進と個別排水処理事業の健全な運営					
事業の対象	個別排水処理施設利用者					
実施結果・現状と課題	<p>【実施結果】 個別排水処理施設使用料（現年度）の収納率100% 水洗便所改造資金貸付の新規申込者なし</p> <p>【現状と課題】 事業所等における個別排水処理施設の設置が増えたことで、使用料の徴収方法が多様化している</p>					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	2,568	2,607	2,961	2,190	2,616	2,650
国支出金	-	-	-	0	0	0
道支出金	-	-	-	0	0	0
地方債	-	-	-	0	0	0
その他	-	-	-	2,061	2,614	2,600
一般財源	2,568	2,607	2,961	129	2	50
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	2,568	2,607	2,961	2,190	2,616	2,650

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	個別排水処理施設普及率 (設置基数÷対象基数)	目標	%			46.5	48	49
		実績	%			46		
		達成率	%			98.92		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	使用料の徴収等、町がすべき事業である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	手段や対象は適正である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	経費は適正である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 引き続き適正な運営を行う					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 人件費等で増減はするものの、現状維持とする			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								



平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		公共下水道事務		グループ・担当名	建設グループ維持担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	01 公共下水道費
	施策(大)	07 上下水道の整備			項	01 公共下水道費
	施策(中)	05 下水道事業の推進			目	01 一般管理費
	施策(小)	01 下水道経営の健全化			大事業	01 公共下水道事務
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	-
事業概要	公共下水道事業にかかる一般事務経費。					
事業目的	公共下水道普及促進、適切な汚水処理を行えるようにする。					
事業の対象	公共下水道区域内の町民					
実施結果	【実施結果】 適切な使用料の賦課徴収、管路情報整備、水洗化資金貸付により水洗化を推進する。					
現状と課題	【現状と課題】 水洗化率は96%と高水準であるが、今後も水洗便所改造等資金貸付制度の周知を図り、水洗化率の更なる向上に努める。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	77,403	73,772	76,102	72,320	77,059	77,000
国支出金	-	-	0	-	0	0
道支出金	-	-	0	-	0	0
地方債	-	-	0	-	0	0
その他	-	-	7,247	-	7,211	7,000
一般財源	77,403	73,772	68,855	72,320	69,848	70,000
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	77,403	73,772	76,102	72,320	77,059	77,000

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	水洗化率	目標	%			96	96	96
		実績	%	96	96	96		
		達成率	%	100	100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	衛生的な生活環境整備のため町が実施するべきである。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	類似団体と比較しても水洗化率は高水準である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	現行の経費は適切である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 引き続き水洗化率の向上に努める。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状の予算を維持し、事業を実施する。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調査書

1. 事業内容

事務事業名		公共下水道管渠維持管理事業		グループ・担当名	建設グループ維持担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	01 公共下水道費
	施策(大)	07 上下水道の整備			項	01 公共下水道費
	施策(中)	04 下水道事業の継続性の確保			目	02 維持管理費
	施策(小)	03 下水道施設の老朽化等に伴う改築・更新事業			大事業	02 公共下水道管渠維持管理
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	下水道法・都市計画法			経費区分	投資的経費	
事業概要	昭和48年より公共下水道事業に着手し、管渠施設の不具合が多くなっているため、速やかに市街地の汚水を収集し、直接処理場を経て公共用水域に放流するという管渠施設の機能を発揮できるよう適切かつ計画的に維持管理を行う。					
事業目的	管渠施設がその役割を果たすように効率的に管理するだけでなく、中期的な視点を踏まえた日常の維持管理を積み重ねることで、より効率的に施設の機能が発揮され保持されることを目的とする。					
事業の対象	町民（公共下水道利用者）					
実施結果・現状と課題	【実施結果】 巡視・点検（地上からの目視）を行い、調査が必要な箇所については、調査を実施し、異常と判定した管渠については、計画的に修繕を実施する。					
	【現状と課題】 管渠の経年劣化により、使用料の徴収対象にならない不明水が増加傾向にある。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	15,607	14,952	17,645	16,995	16,385	15,600
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	15,607	14,952	17,645	16,995	16,385	15,600
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	15,607	14,952	17,645	16,995	16,385	15,600

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	整備率	目標	%		80	80	80	80
		実績	%	80	80	80		
		達成率	%	100	100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町管理のため、町が実施すべきである。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	清掃・更新等適切に維持管理されている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	維持管理及び経費は適正である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 経年劣化により不具合は多くなっているが、修繕計画に基づき適切な維持管理に努める。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状を維持し、管渠の維持管理に努める。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		終末処理場維持管理事業		グループ・担当名	建設グループ維持担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	01 公共下水道費
	施策(大)	07 上下水道の整備			項	01 公共下水道費
	施策(中)	04 下水道事業の継続性の確保			目	02 維持管理費
	施策(小)	02 下水終末処理場の運転管理			大業	01 終末処理場維持管理事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	下水道法・水濁法・廃掃法			経費区分	投資的経費	
事業概要	終末処理場へ間断なく流入する下水を処理して安全な処理水として放流するため、施設の点検等を実施し、突発事故に際しても、処理水質の低下を最小限にとどめるよう処理場機器の修繕、処理場の運転及び維持管理を行う。					
事業目的	処理場施設のうち水処理施設は、下水を処理して法令等の基準に適合する処理水質を確保し、汚泥処理施設は、水処理施設で分離した汚泥の全量をなるべく腐敗しないうちに素早く取り扱いやすい形にして搬出するとともに資源化に際して必要な性状を付与する。					
事業の対象	町民（公共下水道利用者）					
実施結果	【実施結果】 性能発注方式による民間委託を行い、民間事業者の創意工夫を活かし、効率的な維持管理を実施する。					
現状と課題	【現状と課題】 経年劣化により不具合が増加傾向にある。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	203,814	207,251	228,198	224,619	230,238	228,036
国支出金	-	-	0	-	0	-
道支出金	-	-	0	-	0	-
地方債	-	-	0	-	0	-
その他	-	-	25,683	-	25,836	-
一般財源	203,814	207,251	202,515	224,619	204,402	228,036
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	203,814	207,251	228,198	224,619	230,238	228,036

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	稼働率	目標	%			80	100	100
		実績	%	100	100	100		
		達成率	%	100	125	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町管理のため、町が実施すべきである。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	適切に運転及び維持管理されている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	維持管理及び経費は適正である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 経年劣化により不具合は多くなっているが、修繕計画に基づき適切な維持管理に努める。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状を維持し、処理場の維持管理に努める。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		交通安全施設整備事業		グループ・担当名	建設グループ維持担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	04 地域の安全対策の充実			項	02 道路橋梁費
	施策(中)	01 交通安全施設の整備			目	02 道路橋梁維持費
	施策(小)	02 危険箇所の交通安全対策			大業	04 交通安全施設整備事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	安全な道路環境を創出するため、街路照明灯、警戒標識、カーブミラー灯の交通安全施設の設置及び道路区画線設置を実施する。					
事業目的	町道利用者が安全かつ快適に通行、利用できるようにする					
事業の対象	町道利用者					
実施結果・現状と課題	【実施結果】 道路照明やカーブミラーの設置による視界の確保、歩道のない町道等への区画線の再設置により、車両や歩行者の安全を確保する 【現状と課題】 道路照明（主に修繕）やカーブミラーは自治会等の要望に、区画線は年次的に再設置している。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	1,275	2,907	3,449	3,396	3,550	3,550
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	1,275	2,907	3,449	3,396	3,550	3,550
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	1,275	2,907	3,449	3,396	3,550	3,550

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	町道区画線整備延長	目標	m		52,500	16,200	14,642	15,000
		実績	m	8,413	16,631	19,260		
		達成率	%		31.68	118.89		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町道のため、町で実施する。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	年次的、計画的に実施している。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	入札の実施により適正な費用である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 引き続き、年次的に実施する。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 引き続き、年次的に実施する。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		道路橋梁管理事業		グループ・担当名	建設グループ維持担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	01 道路網の整備			項	02 道路橋梁費
	施策(中)	02 町道の整備			目	02 道路橋梁維持費
	施策(小)	03 町道整備、維持補修、道路附帯施設、橋梁補修の計画及び			大事業	01 道路橋梁維持管理事業
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	道路機能保全のためパトロールを行い、路面や街路樹等の状況を確認し、危険個所の早期発見、補修等の町道維持管理を行う。					
事業目的	道路等を良好な状態に保ち安全で円滑な交通を確保する。					
事業の対象	町道及び橋梁利用者					
実施結果	【実施結果】 道路や橋梁等施設の状況を確認し必要な補修作業を随時行っている。					
現状と課題	【現状と課題】 道路、橋梁等が老朽化している。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	229,648	105,562	106,407	96,064	112,676	120,000
国支出金	0	-	0	-	0	-
道支出金	0	-	0	-	0	-
地方債	0	-	0	-	0	-
その他	44	-	1	-	1	-
一般財源	229,604	105,562	106,406	96,064	112,675	120,000
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	229,648	105,562	106,407	96,064	112,676	120,000

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	施設機能の維持 (生活道路の開通割合)	目標	%		90	100	100	100
		実績	%		100	100		
		達成率	%	100	111.11	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町道管理のため、道路管理者である町が実施すべきである。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	日々のパトロール等によって早期発見、補修につながっている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	早期発見により、補修費が抑えられている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 引き続きパトロール等を行い、早期発見、補修を行う。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 補修事業によって予算の増減はあるものの、引き続き事業を実施する。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		道路橋梁整備事業		グループ・担当名	建設グループ維持担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	01 道路網の整備			項	02 道路橋梁費
	施策(中)	02 町道の整備			目	02 道路橋梁維持費
	施策(小)	03 町道整備、維持補修、道路附帯施設、橋梁補修の計画及び			大業	01 道路橋梁維持管理事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	道路機能維持のため、町道の補修を行う。					
事業目的	道路等を良好な状態に保ち、安全で円滑な交通を確保する。					
事業の対象	町道及び橋梁利用者					
実施結果	【実施結果】 道路や橋梁等施設の状況を確認し必要な補修を行っている。					
現状と課題	【現状と課題】 道路、橋梁等が老朽化している。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	14,170	6,006	30,021	28,763	27,650	42,841
国支出金	0	-	-	-	0	-
道支出金	0	-	-	-	0	-
地方債	4,500	-	-	-	0	-
その他	2,754	-	-	-	0	-
一般財源	6,916	6,006	30,021	28,763	27,650	42,841
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	14,170	6,006	30,021	28,763	27,650	42,841

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	町道補修件数	目標	箇所		4	3	4	8
		実績	箇所	3	4	3		
		達成率	%		100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町道管理のため、道路管理者である町が実施すべきである。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	日々のパトロール等で発見した箇所を補修している。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	入札の実施により適正な費用である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 引き続きパトロール等で発見された補修箇所を確認し、必要に応じ実施する。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 補修箇所によって予算額の増減はあるものの、必要に応じ補修する。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								



平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		除雪対策事業		グループ・担当名	建設グループ維持担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	02 除排雪体制の充実			項	02 道路橋梁費
	施策(中)	01 除雪体制の充実			目	02 道路橋梁維持費
	施策(小)	01 除雪計画と除雪体制の随時見直し			大事業	03 除雪対策事業
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	市街地区を11の地区に分け、直営、民間8業者で、郊外地区を5地区、歩道を8ブロックに分けて、冬期間の除雪作業を行っている。(除雪延長は町道で市街地区が113km、郊外地区が266km、合計で379km。) また、路面凍結時の砂撒きや堆雪状況に応じた排雪作業を行っている。					
事業目的	冬期間の円滑な交通環境を確保する。					
事業の対象	町道利用者					
実施結果	【実施結果】 降雪状況、堆雪状況に応じて除排雪を行っている。					
現状と課題	【現状と課題】 直営、民間委託8社で除雪を実施している。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	183,308	102,038	113,807	82,331	118,785	105,100
国支出金	7,200	-	3,600	-	3,600	-
道支出金	0	-	0	-	0	-
地方債	0	-	0	-	0	-
その他	0	-	0	-	0	-
一般財源	176,108	102,038	110,207	82,331	115,185	105,100
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	183,308	102,038	113,807	82,331	118,785	105,100

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	一斉除雪実施回数	目標	回			8	8	6
		実績	回	7	4	10		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	道路管理者である町が実施すべきである。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	概ね通勤時間帯までに除雪を終えている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	直営・民間と役割分担をし実施している。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 引き続き、降雪、堆雪状況に応じ除雪事業を実施する。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 降雪状況によって予算額の増減はあるものの、引き続き事業を実施する。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		除雪車両整備事業		グループ・担当名	建設グループ維持担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	02 除排雪体制の充実			項	02 道路橋梁費
	施策(中)	01 除雪体制の充実			目	02 道路橋梁維持費
	施策(小)	02 除雪車両の充実			大業	03 除雪対策事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	冬期間の円滑な交通環境を確保するため、直営、民間委託等役割分担をし、除雪作業を行っている。そのため、直営による除雪作業に必要な除雪車両の整備をし、除雪体制を維持する。					
事業目的	除雪車両を整備する。					
事業の対象	除雪車両					
実施結果	【実施結果】 除雪、砂散布車両等の導入、入替え。					
現状と課題	【現状と課題】 平成29年度、除雪トラックの入替えを行った。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	8,302	39,141	53,634	51,541	4,890	92,676
国支出金	-	-	30,200	-	0	48,440
道支出金	-	-	0	-	0	0
地方債	-	-	16,100	-	0	16,100
その他	-	-	1	-	0	23,200
一般財源	8,302	39,141	7,333	51,541	4,890	4,936
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	8,302	39,141	53,634	51,541	4,890	92,676

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
指標1	除雪車両導入数	目標	台			1	1	0	3
		実績	台	0	1	1			
		達成率	%		100	100			
指標2		目標							
		実績							
		達成率	%						
指標3		目標							
		実績							
		達成率	%						
項目	評価の視点	評価	理由						
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	直営の除雪で使用することから導入は妥当である						
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	国費や起債、備荒資金等を活用している						
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	入札の実施により費用は適正である。						
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 防衛省の補助を活用し大型ロータリー、備荒資金を活用し歩道用ロータリー(2台)を導入する。					評価結果		
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 大型ロータリー、歩道用ロータリー導入に伴い拡充する。			予算反映額(概算)	87,786千円		拡充	
今後の改善点	引き続き、年次的、計画的に導入(入替え)していく。								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		道路舗装整備事業		グループ・担当名	建設グループ維持担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	01 道路網の整備			項	02 道路橋梁費
	施策(中)	02 町道の整備			目	03 道路橋梁新設改良費
	施策(小)	03 町道整備、維持補修、道路附帯施設、橋梁補修の計画及び			大事業	01 道路整備事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	幹線・地域道路網の新設及び改良工事の継続的实施により、交通の利便性の確保・向上を図る。 舗装整備後年数が経過し、傷みの激しい路線が多いことから、市街地における一部の未舗装カ所と併せて整備を行う。					
事業目的	交通環境の確保、向上を図る。					
事業の対象	町道					
実施結果	【実施結果】 改良工事、オーバーレイ等の実施					
現状と課題	【現状と課題】 町道の舗装整備後年数が経過し、傷みの激しい路線が多い					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	113,702	65,384	105,975	98,593	120,854	355,319
国支出金	0	-	0	-	0	0
道支出金	0	-	0	-	0	0
地方債	113,400	-	99,000	-	120,700	355,300
その他	0	-	0	-	0	0
一般財源	302	65,384	6,975	98,593	154	19
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	113,702	65,384	105,975	98,593	120,854	355,319

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
指標1	町道整備延長	目標	m			375	870	1,328	4,614
		実績	m	535	386	886			
		達成率	%		102.93	101.84			
指標2		目標							
		実績							
		達成率	%						
指標3		目標							
		実績							
		達成率	%						
項目	評価の視点	評価	理由						
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町道管理者が行うもので、路線の状況に応じて実施している。						
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	路線の状況に応じて必要な整備を実施している。						
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	入札を行っていることから費用は適正である。						
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 後年度に見送りしている路線もあることから、引き続き実施する。						評価結果	
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 後年度に見送りしている路線もあることから、予算は拡充とする。				予算反映額 (概算)	0千円		拡充
今後の改善点									

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		歩道整備事業		グループ・担当名	建設グループ維持担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	01 道路網の整備			項	02 道路橋梁費
	施策(中)	02 町道の整備			目	03 道路橋梁新設改良費
	施策(小)	03 町道整備、維持補修、道路附帯施設、橋梁補修の計画及び			大事業	01 道路整備事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	道路機能維持のため、歩道の補修、整備を行う。					
事業目的	歩道を良好な状態に保ち、歩行者等の安全を確保する。					
事業の対象	歩行者等					
実施結果	【実施結果】 歩道の改修工事を実施している。					
現状と課題	【現状と課題】 年次的に実施している。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	7,906	18,835	21,000	20,844	20,000	20,000
国支出金	0	-	0	-	0	0
道支出金	0	-	0	-	0	0
地方債	7,900	-	21,000	-	20,000	20,000
その他	0	-	0	-	0	0
一般財源	6	18,835	0	20,844	0	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	7,906	18,835	21,000	20,844	20,000	20,000

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	整備延長	目標	m			240	308	365
		実績	m	132	248	295		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	道路管理者である町が実施する。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	通行の安全性確保のため有効である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	入札の実施により適正な費用である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 引き続き、計画的、年次的に実施する。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 整備延長によって予算額は増減するものの、引き続き、計画的、年次的に実施する。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		河川管理事務		グループ・担当名	建設グループ維持担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	03 治山・治水対策の推進			項	03 河川費
	施策(中)	02 河川整備			目	01 河川総務費
	施策(小)	03 河川の浚渫等			大業	01 河川維持管理事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	-
事業概要	本町が管理している普通河川の保全のため、適正な維持管理を行う。 ・ボランティアによる河川清掃等への協力 ・樋門・樋管管理人への委託料の支払い ・河川汚濁防止のためのパトロールの実施					
事業目的	河川 の 環境保全のため					
事業の対象	河川周辺住民					
実施結果	【実施結果】 河川が汚濁する事がないよう状況を確認して浚渫や雑木等の伐採を行う。					
現状と課題	【現状と課題】 パトロールや通報によって発見した雑木等の伐採を行うなど適正な維持管理ができています。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	9,628	692	764	726	848	848
国支出金	0	-	0	-	0	-
道支出金	1,306	-	711	-	790	-
地方債	0	-	0	-	0	-
その他	0	-	0	-	0	-
一般財源	8,322	692	53	726	58	848
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	9,628	692	764	726	848	848

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	施設の点検、維持補修	目標	%			96	100	100
		実績	%		96	100	100	
		達成率	%		100	104.17	100	
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町管理のため、町が実施すべきである。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	適正に維持管理されている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	現行の経費は適切である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 適正な維持管理ができていますため、次年度以降も継続していく。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状の予算で維持管理を継続していく。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		公園管理事業		グループ・担当名	建設グループ維持担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	05 公園、緑地の整備			項	04 都市計画費
	施策(中)	01 公園や緑地の整備、維持管理			目	02 公園維持費
	施策(小)	01 網走川河川緑地整備計画の見直し			大事業	01 公園維持管理事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	-
事業概要	都市公園を地域の人達の憩いの場所として、安全で快適な空間を提供するため、日常的な維持管理を行う。また、設置から相当の年数を経過して、老朽化が進んでいることから、補助事業による公園長寿命化整備計画を進める。					
事業目的	町民が公園を安全に使えるよう、日常の維持管理に努める。					
事業の対象	公園利用者					
実施結果	【実施結果】 町内26公園の維持管理を行っている。					
現状と課題	【現状と課題】 施設の老朽化に伴い、修繕の必要な箇所が増加しており、維持費が増加している。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	32,866	15,902	14,731	14,429	17,347	16,000
国支出金	0	-	0	-	0	-
道支出金	0	-	0	-	0	-
地方債	0	-	0	-	0	-
その他	28	-	7	-	7	-
一般財源	32,838	15,902	14,724	14,429	17,340	16,000
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	32,866	15,902	14,731	14,429	17,347	16,000

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	公園管理数	目標	施設			26	26	26
		実績	施設	26	26	26		
		達成率	%			100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町民が安全・快適に公園を利用するため、町が実施することが妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	施設機能が概ね維持されていることから、手段や対象は適切である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	施設機能が概ね維持されていることから、経費は適正である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 引き続き、公園の維持管理を行う。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 引き続き、公園の維持管理を行うため、現状維持とする。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								



平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		公園整備事業		グループ・担当名	建設グループ都市計画担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	05 公園、緑地の整備			項	04 都市計画費
	施策(中)	01 公園や緑地の整備、維持管理			目	02 公園維持費
	施策(小)	02 公園施設の計画的な更新			大事業	01 公園維持管理事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	都市公園法			経費区分	投資的経費	
事業概要	各施設の改修、修繕、遊具の点検等を行い、施設の安全を図り魅力的な公園作りをし、快適に利用してもらう。また公園長寿命化計画に基づき、公園遊具等の長寿命化を図る。					
事業目的	町民に快適な公園を提供する。					
事業の対象	町民（公園利用者）					
実施結果	【実施結果】 公園施設の耐用性及び安全性が向上している。					
現状と課題	【現状と課題】 公園施設の老朽化に伴い、改修もしくは修繕の必要性が年々増加していることにより、長期的な修繕計画が必要。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	6,578	15,923	76,735	52,114	52,672	53,607
国支出金	-	-	30,250	-	9,800	18,800
道支出金	-	-	0	-	0	0
地方債	-	-	27,200	-	8,800	0
その他	-	-	1	-	1	0
一般財源	6,578	15,923	19,284	52,114	34,071	34,807
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	6,578	15,923	76,735	52,114	52,672	53,607

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	公園整備施設数	目標	施設			2	1	1
		実績	施設			2		
		達成率	%			100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	公園利用者に安全・快適に利用していただくため、また、改修・修繕が必要な箇所が年々増加していることから、町で行うことが					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	改修・修繕の必要な箇所は多数あるが、損傷度合いから優先順位を決めて実施しているため手段や対象は適切である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	事業の実施により公園施設の安全性及び快適性が図られたことから、経費は適正である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 公園町寿命化計画に基づき実施する。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 実施する公園施設の規模によって予算額は増減するものの、計画に沿った事業を実施する。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		都市公園管理事業		グループ・担当名	建設グループ維持担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	05 公園、緑地の整備			項	04 都市計画費
	施策(中)	01 公園や緑地の整備、維持管理			目	02 公園維持費
	施策(小)	04 公園の美化活動の推進			大事業	01 公園維持管理事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	-
事業概要	都市公園施設の日常点検、清掃等を行い、安全で快適な公園を提供するために日常的な維持管理を民間業者等に委託し実施している。					
事業目的	公園利用者の快適性向上					
事業の対象	公園利用者					
実施結果	【実施結果】 委託業者による日常的な維持管理を行っている。					
現状と課題	【現状と課題】 委託業者により適切に維持管理されている。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	15,307	17,139	18,080	17,808	18,888	19,000
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	15,307	17,139	18,080	17,808	18,888	19,000
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	15,307	17,139	18,080	17,808	18,888	19,000

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	施設機能維持委託実施箇所	目標	箇所		23	23	23	
		実績	箇所	23	23	23		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					

項目	評価の視点	評価	理由
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町管理公園のため、町が実施することが妥当である。
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	委託業者によって適切に維持管理されている。
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	入札を行っているため、費用は適正である。

次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 引き続き、民間業者に委託し維持管理を継続する。		評価結果
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 引き続き、同程度の予算額で継続する。		
		予算反映額 (概算)	0千円	現状維持

今後の改善点	
--------	--

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		河川補修事業		グループ・担当名	建設グループ維持担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	03 治山・治水対策の推進			項	03 河川費
	施策(中)	02 河川整備			目	01 河川総務費
	施策(小)	03 河川の浚渫等			大事業	01 河川維持管理事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	河川の氾濫被害の軽減を図り、沿線住民が安心して暮らせる環境作りを行うため、樋管管理、河川や排水路の維持管理、河川浚渫を実施する。					
事業目的	大雨等災害による被害を軽減し、災害等に対する不安を解消する					
事業の対象	河川沿線者					
実施結果	【実施結果】 定期的な浚渫と破損箇所の修繕により対処する。					
現状と課題	【現状と課題】 パトロールや通報によって発見した破損箇所を随時修繕している。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	10,404	6,660	35,593	35,582	13,510	13,510
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	10,404	6,660	35,593	35,582	13,510	13,510
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	10,404	6,660	35,593	35,582	13,510	13,510

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	河川浚渫実施箇所数	目標	箇所			8	8	5
		実績	箇所	5	2	4		
		達成率	%		25	50		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町管理河川のため、町が実施すべきである。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	適切に維持管理されている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	入札を行っているため、費用は適正である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 次年度以降も破損箇所の修繕及び沈砂池の浚渫を継続していく。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 実施箇所によって予算額の増減はあるものの、引き続き事業を実施する。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		報徳車両センター整備事業		グループ・担当名	建設グループ維持担当	
				評価者名	建設水道部長 石澤 憲	
総合計画	基本目標	00		予算科目	款	08 土木費
	施策(大)	00			項	02 道路橋梁費
	施策(中)	00			目	02 道路橋梁維持費
	施策(小)	00			大事業	01 道路橋梁維持管理事業
事業期間	単年度					
要求区分	新規		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	火災により焼失した報徳車両資機材センターの既存施設撤去、及び、新設					
事業目的	被災した既存施設の撤去と施設の新設					
事業の対象	道路・公園の維持管理、補修、冬期除雪に必要な資機材の保管施設確保、及び、車両整備に必要な施設					
実施結果	【実施結果】 被災した既存施設の撤去と施設の新設					
現状と課題	【現状と課題】 平成28年度に完了している。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	0	14,332	0	0	0	0
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	0	14,332	0	0	0	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	0	14,332	0	0	0	0

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	報徳車両センターの建設	目標	棟		1	1		
		実績	棟		1	1		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町道維持管理に必要な資機材等を保管するために必要な施設である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	資機材が適正に管理されている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	住民要望に素早く対応可能である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ● 休止・廃止 適正に管理していく。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 適正に管理されている。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								